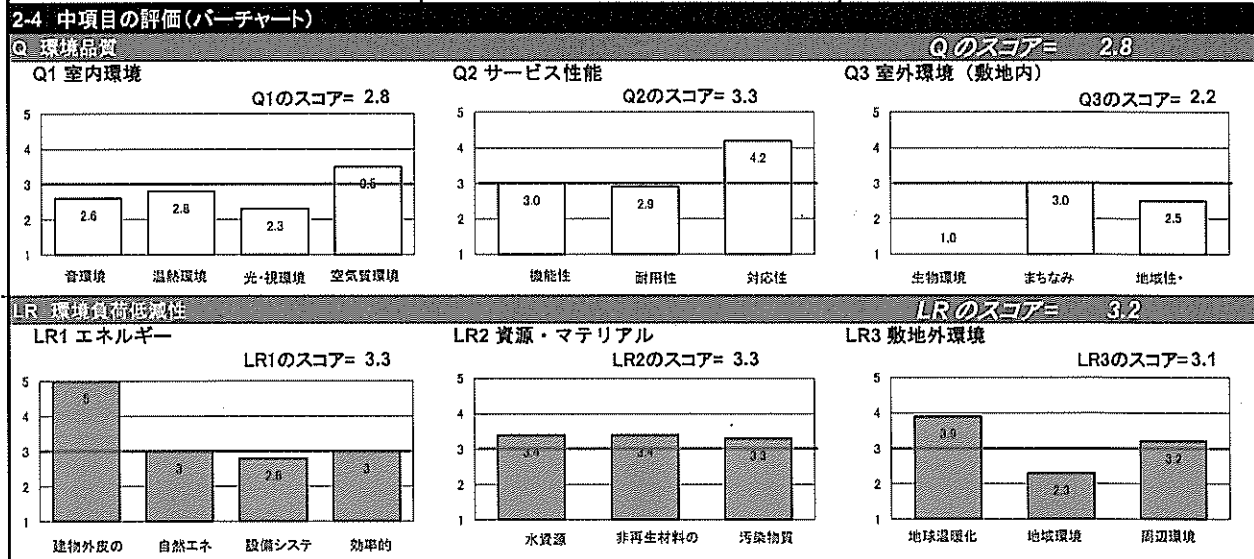
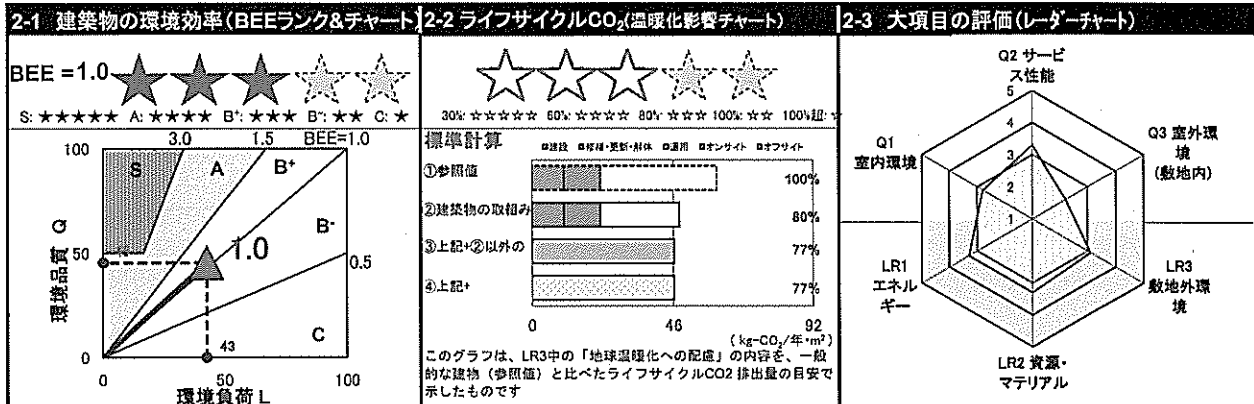
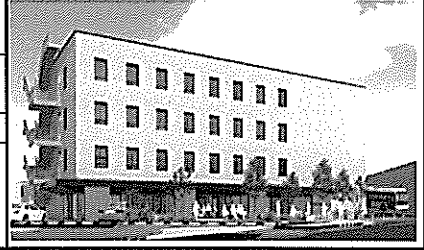


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_最終版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	明治国際医科大学 農学部新校舎建設設計計画	階数	地上4F
建設地	東京都府中市日野町日野田1-1-1(旧日野田1-1-1)	構造	S造
用途地域	地域指定なし・防火地域指定なし	平均居住人員	626 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年8月4日
敷地面積	189,508 m ²	作成者	小林 有吾
建築面積	903 m ²	確認日	2025年9月12日
延床面積	3,266 m ²	確認者	谷口 和彦



3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 窓システムSC: 0.28、U=3.10(W/m ² K) 程度、外壁その他: U=0.37(W/m ² K)。 そして、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 0.1≤(壁長さ比率)<0.3。 そして、床荷重: 3900N/m ² 。 また、配線は空配管内に設置されます。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPlm=0.49。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 そして、LGS使用している。 また、ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率77%。 そして、光害対策ガイドラインの項目の過半を満たす。 また、広告物照明は行っていない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される